

宮城県高齢者人口調査の結果について

1 調査の目的

この調査は、県が策定している「宮城県高齢者福祉計画」等、各種施策推進の基礎数値として活用するため、県における高齢者人口の動向等を把握するものである。

2 調査の主体 宮城県

3 調査の方法 各市町村の住民基本台帳を基に各市町村で調査した数値を集計。

4 調査時点 令和 2 年 3 月 3 1 日現在

5 調査結果の概要

(1) 高齢者人口（65歳以上）の状況……………表 1

高齢者人口は638,003人となっており、総人口が0.4%減少したのに対し、高齢者人口は1.3%増加している。

(2) 高齢化率（総人口に対する65歳以上の割合）の状況……………表 2 - 1

高齢化率は27.9%で前年と比較して0.4ポイント上昇している。

【参考】全国の高齢化率は28.4%（令和元年10月1日現在）

① 広域圏別高齢化率の状況……………表 2 - 2

高齢化率が一番高いのは栗原圏域(39.6%)で、次いで気仙沼・本吉圏域(37.9%)、登米圏域(34.7%)、仙南圏域(33.7%)、石巻圏域(32.4%)、大崎圏域(32.0%)、仙台圏域(24.9%)となっている。

② 市町村別高齢化率の状況……………表 2 - 3

高齢化率が一番高い市町村は七ヶ宿町(46.2%)、次いで丸森町(41.6%)、山元町(40.7%)、栗原市(39.6%)、女川町(38.9%)の順で、県内半数以上の24市町が30%を超えている。

一方、高齢化率が一番低い市町村は、富谷市(20.5%)で、次いで名取市(22.6%)、大和町(22.6%)、利府町(23.3%)、仙台市(24.1%)の順となっている。

(3) 在宅のひとり暮らし高齢者（65歳以上）の状況……………表 3

在宅ひとり暮らし高齢者数は132,690人で、65歳以上の高齢者人口に占める割合は20.8%となっている。